

# La Estación

ラ・エスタシオン  
スペイン語で、局や  
駅の意。当誌が県内  
の国際交流・協力情  
報の発信地として、  
広く親しんでいただ  
けるようお願いを込め  
てつけました。



寄稿 国際交流は何のためにするのか

第2回「遠隔と近接 近世九州の諸相」.....1-2

自治体の紹介 宇佐市.....3

団体の紹介 外国人 Life Support.....3

国際的に活躍している人々の紹介.....4

カン キョンミ氏

JICAデスク大分からのお知らせ「ガーナ体験記」.....4

Event Calendar.....5-6

私たちの声を聞いてください!.....7

メリッサ メイヤー氏

Information.....7

イベントの報告.....7



は容易に想像できる。地平線の向こうは「自由地帯」であり、日本近海での他の船との接触や、取引に関する記述が東インド会社の資料に所々見られる。黒田藩の密貿易者狩りが成功した場面を描いた絵図では数々の小型・中型船が拿捕されている。密貿易は集団で行われていたようである。

東インド会社は、生糸や各種織物のような通常の商品とともに、医薬品、医療道具、望遠鏡、顕微鏡、書籍、地図、絵画、地球儀等の数々の珍品を日本にもたらした。これらのものは日蘭交易上の潤滑油の役割を果たした。会社は老中、大目付、長崎奉行、一連の大名からの注文に前向きに応じ、できるだけその翌年に希望に沿うものを届けるようにしていた。自ら注文を出し、ものや情報を取捨選択するなど、日蘭交流において日本側の積極性が見て取れる。

知識の収集と普及において長崎の阿蘭陀通詞や唐通詞が果たした役割も忘れてはならない。彼らは異国船が運んでくる荷を最初に目にする人々であった。中国人及びヨーロッパ人による説明などをまとめ奉行所へ提出する前に、彼らは報告書から個人用の写本も作成し、それらをのちに弟子、知人、訪問者などに紹介した。海外での動きや様々な学問分野での新しい知識は彼らを通して日本社会に浸透したのである。

海外に関心を寄せる日本人にとって天領長崎は刺激に溢れていた。ここでもまた、空間が人々の行動に影響を与えていたといえるだろう。長崎遊学者の4分の1は九州出身だった。つてをたどって、出島蘭館や唐人屋敷を訪ねることも可能だった。また、遊学者同士の出会いも評価すべきである。異質のものとの接触から新しいものが生まれるとすれば、それは東北出身の若者と九州出身の若者にも当てはまるだろう。全国各地から集まった人々が互いに刺激し合うことにより、学問の発達と普及を促進したことも見過ごしてはならない。

江戸期のこのような地域に根ざした人々の広い視野、知識欲、行動力があつたからこそ、日本人は開国後、目を見張る勢いで近代化に成功したのである。この日本の伝統と底力によって、今の時代の克服しがたい困難もきっと乗り越えられるに違いない。

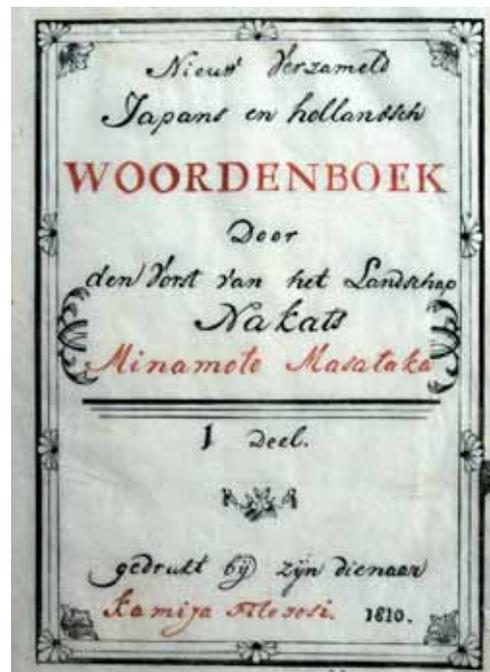


図2 豊前中津藩第5代藩主奥平昌高侯のもと、編集・刊行されたオランダ語辞書『蘭語訳撰』(中津市立図書館蔵)



### Profile

九州大学名誉教授 ヴォルフガング・ミヒェル

- ・九州大学名誉教授
- ・佐賀大学特命教授(地域学歴史文化研究センター)
- ・主な研究分野は欧・日・中を中心とする東西交渉史。約450年前から日本に来ていた西洋人が日本の言語、文化、社会などをどう認識していたか、彼らに対する日本人の反応はどうだったか、またその交流に中国はどのように関わっていたのかといった視点から、ヨーロッパ及び中国、日本の医学・薬学・博物学などの文書資料と器物資料を収集し、東西の接触と相互認知を歴史的な視点から追究している。
- ・主な役職など:九州大学比較文化教育文化施設員(1995年~1977年)、九州大学附属図書館研究開発室室員(2002年~2010年)九州大学大学院言語文化研究院長(2008年~2010年)、九州大学副学長(2009年~2010年)、九州大学附属図書館研究開発室特別室員(2010年~)、特命教授佐賀大学地域学歴史文化研究センター(2010年~)

## 古代の交流を現代に繋ぐ

友好親善都市 韓国慶州市

宇佐市役所 観光まちづくり課 主査 江口 貴之

韓国慶州市は、新羅王朝千年の都として栄えたまちで、市内各地には仏国寺をはじめ当時の仏教文化の栄華を今に伝える数多くの遺跡が散在し、天井のない博物館とも呼ばれる人口約30万人の歴史文化観光都市です。

宇佐市と慶州市は、宇佐神宮と新羅仏教文化との深い係わりや、宇佐市の別府遺跡から出土された日本で唯一の朝鮮式小銅鐸が、慶州市の遺跡から出土されたものと同型であるため、当時から交流があったことをうかがい知ることができます。

そうした古代からの文化交流を現代に復活させることで、地域文化の復興及び国際社会に対応できる人材の育成を図るため慶州市に打診し、1992年（平成4年）に友好親善交流都市締結を行いました。

最近の主な交流内容として、「慶州市芸術の殿堂」の完成を記念して開催された「慶州・宇佐美術文化協会交流」では、双方の作

品展示による文化交流を実施しました。また、国際感覚豊かな人材を育成するため平成7年から毎年実施している「中学生派遣事業」では市内の各中学校から選抜された生徒20名が慶州市でのホームステイや地元中学生との交流などを行っています。

その他、慶州市で開催される「韓国酒と餅祭り」では宇佐市ブースを開設し、餅の調理販売や酒の試飲及び観光PRを行い、一方、宇佐市で開催される「ワイン祭り」では慶州市ブースでトッパギ、チヂミなどの調理販売を行っています。この物産交流は、お互いの親善関係を広くPRできるとともに、訪れたお客様には異国食文化に触れる貴重な機会だと大変好評です。

今後もこのような人や文化交流はもちろん、交流の幅を広げて両市の経済・観光交流へ進展するよう、継続的に国際交流事業を進めていく必要があります。

最後に、慶州市の方と交流を通じて感じたことは、みなさんとても親しみやすく人情深いということです。はじめは韓国語がわからずコミュニケーションをとるのに不安がありましたが、上司から「国際交流は言葉が通じなくても笑顔があれば大丈夫。そこから心の交流がはじまる」と教えられ、その後は気が楽になったことを覚えています。今後もまず「心の交流」をこころげ、お互いの文化を尊重し国際交流色豊かな宇佐市を目指したいと思います。



世界遺産（文化遺産）の慶州市仏国寺



「ワインまつり」で慶州市をPR

## 大分の国際交流団体の紹介

### 外国人 Life Support

外国人と、外国人をとりまく問題で心配や悩みのある方は、「外国人 Life Support」へお気軽にご相談ください。

「外国人 Life Support」は、17年前「大分出入国事務取扱協議会」として発足しました。1996年6月から、「入国・在留・国籍手続無料相談会」を大分市コンパルホールにおいて定期的に行っていました。外国人が日本で安心して生活できるよう、日本への入国手続、在留手続、国籍取得手続などの相談、また、日本人と外国人が互いを認め合いながら紛争を円満に解決するための助言などをするを目的として活動していました。

2009年8月、名称を「外国人 Life Support」と改め、より多くの外国人が快適に日本で暮らせるよう、生活や就職の悩みなど、様々な問題に幅広く応じられるよう努力を続けております。

- ・外国人の雇用・就労問題
- ・日本で外国籍の人が起業をしたい。
- ・国籍を越えた結婚・離婚
- ・近隣住民とのトラブルなど

個人のそれぞれのお悩みに対応できるよう、相談員の拡充を図っています。出入国手続、帰化手続などを専門にしている行政書士、弁護士等の相談員以外にも、訓練された様々な分野の専門職の方も相談員に加わりました。



2011年6月には「外国人無料相談会」が175回を数えました。「国際交流プラザ」（iichiko総合文化センター地下1階）において、毎月第1日曜日（1月と5月を除きます。）1時から4時まで「外国人無料相談会」を開催しています。予約の必要はありませんが、順番ですのお待ちいただくこともあります。行政書士、弁護士、社会福祉士、法廷通訳、カウンセラーなどの専門職が皆様の相談に応じます。（相談料は無料）この記事をご覧になったあなたが、外国人にこの相談会の存在を伝えてくださることを期待しています。

それでは、第1日曜日に「国際交流プラザ」でお待ちしています。（お問い合わせは、「外国人 Life Support」事務局、原田みゆきまで。0979-43-6329 電話での相談はお受けできません。）

# 人物の紹介 ~ 国際的に活躍している人々の紹介 ~

韓国出身のカンさん。生まれは人口百万人の蔚山<sup>ウルサン</sup>市。「大分は蔚山を思い起こさせますよ。海もあって山に囲まれて、蔚山と似ているからです」

韓国で日本人の友達ができただけでなく、高校から日本語を学び始め、大学でも日本語を専門として続けました。2002年にワーキング・ホリデーで来日し、浜松と大阪で仕事しながら生活したことがあります。

JETプログラムで国際交流員に応募し、2006年大分に来ました。しかも、着任先の第1希望として、「大分」を希望しました。なぜかという、大分県日韓親善協会等で大分と蔚山の間には、色々な場面で親善交流が行われているからです。

大分県庁に着任して、主に翻訳・通訳や韓国語指導に務めました。その上、学校等で韓国文化を紹介したり、地域の国際交流員等と協力し、国際交流活動を行ってきました。

4年間の国際交流員の任期を終え、その後B-Conプラザとコンパルホールにて仕事をしています。同時に、当財団と協力し

て国際理解講座の講師を務めたり、県の依頼を受けビジネス商談会の通訳をしたりする等、引き続き国際活動を続けています。

日本のあまり好きではないところはないかと聞くと、「地震がよく起きることや物価が高いことなどです。」と言います。

日本のどこが好きかと尋ねると、「日本人はすごく親切で心温かいです。それに町が清潔で暮らしやすいです。また、大分の温泉と自然も大好きです。友達と一緒に山に登ったり、温泉に入ったり、茶道の体験や旅館に泊まった経験等は大分での忘れられない最高の思い出です。」

これからも大分で活発に活動していただきたいですね。カンさん、頑張ってください。

おおいた国際交流プラザや、大分県の国際交流活動で何度もお世話になったので、今回詳しくご紹介したいと思います。

大分県で国際交流活動に熱心な姜慶美(カン・キョンミ)さん。



## JICA デスク大分からののお知らせ

今回の『JICAデスク大分からののお知らせ』では、現在ガーナで青年海外協力隊員として活動されている衛藤さきさんの「ガーナからの風」をお届けします。衛藤さんは定期的に『ダウダウ新聞』という形でガーナの様子を紹介してくれています。『ダウダウ新聞』は大分県青年海外協力協会のホームページ(<http://ooca.org/>)でご覧いただけます。



授業を受ける生徒

チョコレートで有名なガーナ共和国は西アフリカにあります。面積は日本の3分の2、人口は5分の1です。ガーナでは北と南とで気候が違います。北部はサバンナ気候、南は熱帯雨林気候です。言語は英語ですが、現地語は74もあります。主要産業は農業で、みなさん知っての通り、カカオ豆が主要農産物です。

私は、ガーナは道端の至るところにカカオの木が生えているだろう。でもカカオはほとんど輸出されていて、ガーナ人はあまりチョコレートを食べることができないだろうと思っていました。私がガーナに来て一年になります。カカオの木を見たのはまだ1度しかありません。また、チョコレートをガーナ産のカカオで作っている会社はガーナには1社しか

ありません。日本でもあるような板チョコ一枚が3ガーナセディ(1ガーナセディ=約70円)です。ガーナでは一食が30ペセワ(1ガーナセディ=100ペセワ)で食べることができるので、3ガーナセディはとても高価です。ではガーナ人はチョコレートを食べたことがないのかということ、輸入品のチョコレートを安く買うことができます。

さて私はという北部のアッパーウエスト州ロウラという場所で、ロウラ高等学校の二年生に数学を教えています。全校生徒が2,000人ととても大きな学校です。全寮制で、先生たちも学校の敷地内に家があり、ともに暮らしています。ガーナでは小学校6年、中学校は3年、高校は4年(2010年より3年制に変更)です。ガーナの高校生は授業中、質問や意見などどんどん先生にします。また友達と教えあうというチームワークが素晴らしいです。しかし、そのチームワークがテスト中にも見受けられるので、困ったものです。



国際協力推進員の川崎(かわさき)までいつでもどうぞ

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko 総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内  
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 E-mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp





## プラザのカウンセリング・各相談室のご案内

### カウンセリング

場所：iichiko 総合文化センター B1F おおいた国際交流プラザ  
お問合せ先：TEL：097-533-4021 FAX：097-533-4052  
E-mail：in@emo.or.jp

### 中国語無料相談

毎週火曜日と木曜日  
時間：火曜日：13：00～16：00  
木曜日：10：00～13：00  
会場：国際交流プラザ  
申し込み：不要  
相談員：崔 文玉（ツイ・ウェンユウ）  
相談料：無料  
※県内在住中国語圏の方のための相談室です。

### タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日  
時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ  
申し込み：不要 相談料：無料  
相談員：吉武ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）  
※悩み事を抱えている方、タガログ語で気兼ねなく話をしたい方はプラザにお越しください。

### 入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日  
主催：ライフサポート大分  
時間：13：00～16：00  
会場：国際交流プラザ  
相談料：無料 予約：必要  
対応言語：日本語・英語  
※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。外国の方とのかかわりの中でお悩みの方の相談も受け付けます。

### 在住外国人のための無料相談室

毎月第3水曜日  
時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ  
申し込み：不要  
※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。  
相談員：伊藤精（行政書士）  
相談料：無料  
※県内在住外国人のための相談室です。

## AUG



### 6日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



### 6日（土）外国文化理解講座 ～中国に渡った日本の音楽～

内容：予約不要・受講料無料で、どなたでも気軽に外国の文化を学べる外国文化理解講座。今年度は、中国、韓国、フランスの講座を開催します。大分にながらにして、それぞれの国の文化に触れてみませんか？各テーマに関連したワンフレーズレッスンなどもあり、外国の文化と言語を学びながら、一緒に国際交流をしましょう！

テーマ：～中国に渡った日本の音楽～

時間：14：30～16：00

場所：iichiko総合文化センター B1F【映像小ホール】

予約：不要 受講料：無料

TEL：097-533-4021 E-mail：in@emo.or.jp



### 7日（日）入国・在留国籍手続無料相談（毎月第1日曜日）

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ  
主催：ライフサポート大分

### 16日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



### 17日（水）在住外国人のための無料相談（毎月第3水曜日）

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



### 20日（土）日本語deトーク

内容：国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に日本語deトークを開催します。この日本語deトークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。興味があるテーマに気軽に参加してみませんか？ 同日の外国文化理解講座の前に開催します。

テーマ：「故郷」

時間：13：00～14：30

場所：iichiko総合文化センター B1F【国際交流プラザ】

定員：10名（先着順） 予約必要 参加費：無料

TEL：097-533-4021 E-mail：soenke@emo.or.jp



### 27日（土）国際理解講座 世界一周旅行報告会

#### 『夫婦ふたりで世界をトリップ!～ふたりっぽ～』

若い夫婦が7カ月間、18カ国の世界一周旅行を体験し、無事に大分に帰ってきました。その報告会を下記の通り開催します！コーディネーターとの対談形式で、旅行中の写真も交えながら苦労話や面白話などを聞けるので、海外や旅行に興味のある方はぜひお越しください！



時間：19：00～21：00

場所：iichiko総合文化センター B1F【映像小ホール】

講師：藤川 英祐 氏 } 世界一周旅行体験談講演者

藤川 裕美 氏 }

桜井 高志 氏（桜井・法貴グローバル教育研究所）

→コーディネーター

予約：不要 受講料：無料

TEL：097-533-4021 E-mail：in@emo.or.jp

## SEP



### 3日(土) タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



### 4日(日) 入国・在留国籍手続無料相談(毎月第1日曜日)

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ

主催：ライフサポート大分



### 10日(土) 日本文化理解講座 太鼓体験

この講座は、日本文化を肌で体験したい、外国人住民が対象です。今年度全3回開催する日本文化理解講座の第1回目は、外国人もよく参加する、別府の「豊後くれない太鼓」チームリーダーの三浦千恵子さんに講師を務めていただきます。参加者は気軽に和太鼓をたたいてみたり、基本的なリズムや簡単な曲を学べます。音楽は国際的な言語だとよく言われるので、講師が身振り手振りで教えてくれますが、通訳が必要な方は手配いたします。太鼓を体験してみませんか?



時間：講座I 13:30～15:30

講座II 16:00～18:00

場所：iichiko総合文化センター B1F【リハーサル室】

講師：三浦 千恵子 氏(「豊後くれない太鼓」のチームリーダー)

予約：必要 受講料：無料

対象者：大分県在住外国人

TEL：097-533-4021 E-mail:in@emo.or.jp



### 17日(土) 外国文化理解講座 ～韓国の伝統音楽～

内容：予約不要・受講料無料で、どなたでも気軽に外国の文化を学べる外国文化理解講座。今年度は、中国、韓国、フランスの講座を開催します。大分にながらにして、それぞれの国の文化に触れてみませんか?各テーマに関連したワンフレーズレッスンなどもあり、外国の文化と言語を学びながら、一緒に国際交流をしましょう!

テーマ：～韓国の伝統音楽～

時間：14:30～16:00

場所：iichiko総合文化センター B1F【映像小ホール】

予約：不要 受講料：無料

TEL：097-533-4021 E-mail：in@emo.or.jp



### 20日(火) タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



### 21日(水) 在住外国人のための無料相談(毎月第3水曜日)

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ

## 7カ国語で話そう!

## ヒッポファミリークラブ

8月27日(土)

よいこのつどい「ブログをはじめよう」

時間：15:30～17:30

場所：コンバルホール

講師：ちよるまま大分代表 二宮 美保 氏

参加費：無料

9月23日(金)

7カ国語で話そう! 20周年記念講演会

時間 14:00～16:00

場所：コンバルホール

講師：21カ国語をあやつる主婦 神川 邦子 氏

9月24日(土)

7カ国語で話そう! 1日体験会

時間：15:30～17:30

場所：コンバルホール

### 「カバの絵」コンテスト

1981年に東京で設立されたヒッポファミリークラブは、おかげさまで今年30周年記念の年となり、そして大分では20周年となりました。「ヒッポ」とは英語で「かば」とのこと。ヒッポファミリークラブのキャラクターにもなっています。おおいヒッポファミリークラブ20周年を記念して、今回はこの「カバの絵」を大募集!! みなさん、ふるってご応募下さい!

大賞：1名(図書カード10,000円分)

優秀賞：3名(レジャーチケット)

佳作：10名(図書カード500円分)

その他豪華商品

応募期間：7月1日～9月20日必着

応募方法：かばとわかる絵ならなんでもOK!(写真・コピーは不可)

はがきもしくは同サイズの用紙。表面に氏名、年齢、住所、電話番号を記入して、裏面に作品を書いてお送り下さい。

送り先：〒870-1171 大分市鬼崎576-2

ヒッポファミリークラブ 安達里実 宛

発表：9月23日(金)ヒッポファミリークラブ大分20周年記念講演会会場にて

※入賞者には事前に電話連絡いたします。

お問合せ：ヒッポファミリークラブ大分 安達里実

090-1976-5192



わたしたちの声を聞いてください!

## 「大分のここが大好きだ!」

メリッサ メイヤー

国際交流員になる時、配属希望地をあげることができます。私は「宮崎県」と「熊本県」に希望をだしましたが、聞いたことのない「大分県」に配属されました。しかし、大分に辿り着いたら、すぐに気に入りました。一日目、大分市の府内町をはじめ歩いて、可愛いお店やレストランを見かけて、いつか行くのを楽しみにしていました。自然が大好きな私にとって、自然が豊富な大分県は特に馴染みやすかったです。そして、国際交流員の仕事を通じて、大分県についてとても詳しくなりました。通訳と翻訳の仕事をはじめ、英語情報誌の取材や在住外国人の相談の仕事で大分県を知る機会がたくさんあり、自分の地元のペンシルベニア州より大分県について詳しくなったのではないかと思います。しかし、2011年7月に国際交流員として3年間の任期が終わり、大分県から離れることになりました。今度は筑波大学院で国際公共政策を専攻し、修士を取得する予定です。茨城県にいても、いずれアメリカに帰国しても、大好きな大分の温かい思い出は心の奥に残ります。

今回の記事は最後の記事ということで、「確実に恋しくなる大分県のトップ10」をリストアップします:

「豊後くれない太鼓」(練習中ピクニックあり)

吉野鶏飯(レシピ-未解説)

大分弁(もう聞けん、さみしいに!)

府内パッチン(セイヤ! セイヤ!

セイヤ! セイヤ!)

柞原神社(坂道は自転車登り)

府内城址公園・若草公園・平和市民公園・ジャングル公園

温泉

田ノ浦ビーチ・住吉浜リゾートパーク

湯布院・臼杵の景色

県庁・大分県文化スポーツ振興財団・友達の皆さま



# INFORMATION

おおいた国際交流プラザでは、毎月国際交流・協力活動を行っている個人・団体の活動紹介のためのギャラリー展を行っています。

展示期間: 1ヵ月

展示費用: 無料

これまで多くの個人や団体の活動写真展や、書・絵画の発表、外国人の出身国の紹介などをしてきました。

大分県民に自分達の活動を紹介したいという方のお申込みをお待ちしております。

展示したい方は、申込書をホームページでダウンロードし、あるいはプラザで受領して、FAX、E-mailまたは直接提出して下さい。ダウンロードのリンク:

<http://www.oitaplaza.jp/japanese/uploads/photos/1/159.pdf>

掲示内容に関するトラブル等は責任を負いかねますのでご理解ください。



## イベントの報告 「平成23年度第1回国際交流研修会」

7月1日(金)午後、「平成23年度第1回国際交流研修会」を開催いたしました。県内市町の国際交流担当課や県内国際交流団体等の皆さん方が合計43人集まり、宇佐市経済部観光まちづくり課の東原亮一さんが、「宇佐市における国際交流(慶州市等との交流)について」講演されて、そして、事例紹介として別府外国人観光客案内所の代表山本普詳さんの団体の話に耳を傾けました。その後の意見交換会の中では、講師との質疑応答の後、多くの参加者が活発な意見やコメント等を発表したり、団体の活動をアピールしたりしました。

大分県における自治体や団体等における国際交流活動についていろいろ勉強になりましたし、自治体国際交流団体の互いのネットワーク

が、さらに緊密になったのではないかと思います。

今回も多くの方々に参加して下さいましたことに感謝いたします。今後とも多くの皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお祈りいたします。



講師: 東原亮一 課長



別府外国人観光客案内所の代表山本普詳さん

おおいた国際交流プラザ

## La Estación ラ エスタシオン 2011 Vol. 32

発行日 平成23年7月29日 (奇数月末発行予定)  
編集・発行 大分県文化スポーツ振興財団 国際交流課

〒870-0029 大分市高砂町2番33号

iiichiko総合文化センター地下1階 iiichiko Space Be内

開館時間: 9:30 - 19:00

閉館日: 日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその翌日の土曜日 (ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日)

TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052

E-mail: [in@emo.or.jp](mailto:in@emo.or.jp) Twitter: @oitaplaza

URL: <http://www.oitaplaza.jp/>

